

EU Indicators

欧州経済指標コメント：1月ドイツ製造業受注

発表日：2016年3月7日(月)

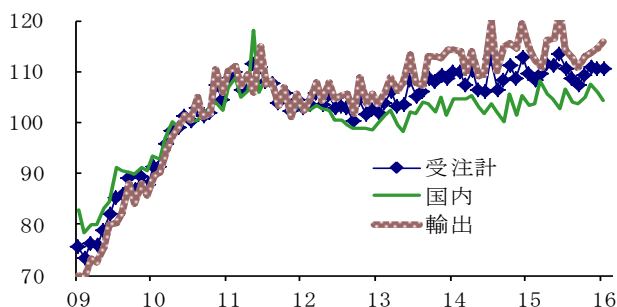
～不安の自己増殖に歯止め～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

- 1月のドイツの製造業受注は前月比▲0.1%と2ヵ月連続で減少した（前月値は同▲0.7%→同▲0.2%に上方修正）。「昨年夏場の不振」→「秋頃の反発」→「冬場以降の再落ち込み」と、数ヶ月単位でボラタイルな推移を繰り返しているが、均してみれば過去2年余りドイツの受注は殆ど増えていない。I f oやPMIなどのサーベイデータからは、先行き一段の減速の可能性が示唆される。
- 内外受注の内訳は、内需の堅調・外需の減速という姿と正反対。国内受注（前月：同▲1.5%→今月：同▲1.6%）が昨年10・11月の大幅増の反動もあり2ヶ月連続で減少した一方で、輸出受注（同+0.8%→同+1.0%）が4ヵ月連続で増加した。輸出受注の内訳は、ユーロ圏（同▲6.6%→同+7.5%）、非ユーロ圏（同+5.6%→同▲2.7%）の間で入り絡りが目立つ。やや長いトレンドでみると、ユーロ圏が緩やかな拡大基調にあるなか、昨年央を境に非ユーロ圏の拡大に頭打ち感が広がっている。
- 年明け以降の世界的な景気減速懸念の割に、非ユーロ圏の輸出受注の落ち込みは小幅なものにとどまった印象がある。金融市場での過度な不安心理がソフトデータを冷え込ませているが、これまでのところハードデータは持ち堪えている。ここに来て金融市場が落ち着きを取り戻しつつあり、ドイツ景気を取り巻く過度な不安心理は徐々に後退すると予想する。

■ドイツ：製造業新規受注（季調値）

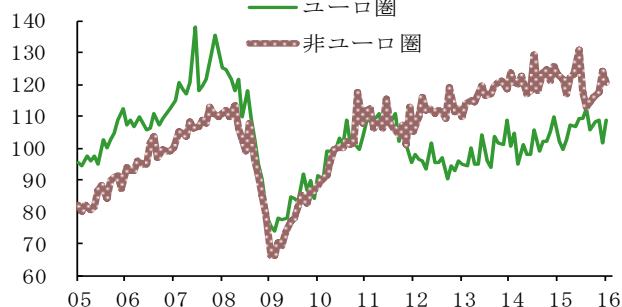
(2005=100)



出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツ：製造業輸出受注（季調値）

(2005=100)



出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツの製造業受注（季節調整値、実質、前期<月>比、%）

	2015				2015								2016
	1Q	2Q	3Q	4Q	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
製造業受注計	-1.5	2.6	-2.7	1.2	1.9	-2.3	-1.8	-1.1	1.7	1.5	-0.2	-0.1	
資本財	-1.8	4.0	-3.5	0.1	3.6	-2.8	-3.0	-2.0	2.4	-0.1	0.6	1.7	
資本財（除くその他輸送機械）	-1.9	3.9	-4.8	1.4	-1.2	-1.5	-4.8	-0.5	3.9	-2.1	3.1	0.9	
中間財	-1.6	0.2	-1.1	2.3	-0.4	-1.2	-0.3	0.2	-0.1	4.7	-2.1	-4.0	
消費財	1.0	2.8	-3.4	4.6	-0.8	-2.4	-0.2	-0.7	5.0	-1.8	4.1	3.9	
耐久消費財	1.7	-1.1	3.6	0.4	-2.0	6.3	0.2	-5.1	2.6	-0.3	4.4	-3.2	
非耐久消費財	0.8	4.1	-5.5	6.0	-0.4	-5.0	-0.3	0.8	5.8	-2.3	4.0	6.2	
国内受注計	1.0	-0.6	0.3	1.4	-1.9	3.7	-2.4	-0.4	1.4	2.5	-1.5	-1.6	
輸出受注計	-3.4	5.0	-4.8	1.0	4.6	-6.3	-1.4	-1.6	1.8	0.8	0.8	1.0	

出所：ドイツ連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。